

平成 2 3 年 第 1 3 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平成 2 3 年 1 0 月 1 9 日
招 集 場 所	役場 第 2 会 議 室
開 会	1 4 時 0 0 分 委 員 長 宣 告
出 席 委 員	立脇教育委員長 福田教育委員 井上教育委員 内田教育長
欠 席 委 員	長崎教育委員
教 育 長 の 報 告	<p>別紙報告事項による。</p> <p>事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西部地区教育委員会連絡協議会 ・ 日南町体育祭 各地区ともに選手動員がスムーズにでき良かった ・ 北海道大学 鈴木教授の研修会を実施 授業デザイン 指導案についての研修 ・ 陸上県大会 一部優秀な成績を収めることができた。但し、全般的に体力的な差があり。 ・ 郷土資料館工事 建築工事はほぼ終了した。これからは展示を行っていく ・ ふれあい文化祭の実施 ・ 日野高校の在り方を考える協議会 <p>事業予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律に基づく事務・事業の点検と評価について、今後外部評価を実施していきたい。 ・ ふる里まつりの実施 ・ 大笹奥新田遺跡（たたら）現地説明会の実施 ・ 県・市町村教育行政連絡協議会、日野高校の在り方を考える協議会の実施 ・ 中学校文化祭 ・ 市町村教育委員会研究協議会の実施 ・ 小・中学校計画訪問の実施

- ・町同和教育研究集会の実施
 - ・スクラム教育フォーラムの実施
- 事務局からふる里まつりの説明
質疑なし

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日 程 そ の 他	発 言 者	発 言 の 要 旨
協議事項	教 育 長	社会教育の現状と課題について 現状・課題について、事務局から報告する。
	事 務 局	社会教育について、別添資料の説明
	委 員 長	先ほどの説明について、質疑・意見を求める。
	委 員	公民館をなくしたことでの弊害が出ている。地域担当職員が機能していない。まち協の仕事量から社会教育の充実まで手が付けれていない。
	委 員	社会教育現状について、公民館からまち協に変わったことで、社会教育は衰退している。事務長の仕事が多方面にわたっており、社会教育が犠牲になっている。まち協で行っている社会教育について全般的に単発行事で終わっており、継続的な活動ができていない。生涯学習の核になる人物が各まち協に配置されるべきである。
	教 育 長	まち協については、社会教育の拠点から自治組織の拠点に変化した。まち協に求めるものは、自治会の枠を外し地域をまとめるところにある。地域の活力を出すための活動を求めた。まち協の活動の限界は人であると思う。地域担当職員をうまく活用しているまち協では、活発な活動が行われている。まち協の活動が停滞しているところは、社会教育自体行われていないのが現状である。地域の人間をうまく活用していけば、社会教育の充実は図れると思うが実際的には、人を増員していく何らかの方法を教育委

	員会として決定していくことが重要。
委員	最終的には教育長のいうように人であると思う。人の配置が重要になってくる。
委員長	社会教育主事の育成が重要になってくる。本町には有資格者が何人くらいいるのか。不足しているのであれば、予算を要求して育成する必要がある。本町の社会教育の底上げをする人材を育成していく必要がある。
教育長	社会教育主事を取るためには、職務経験、年数を問われる。所定の研修を受けその後1年間の実務が必要である。本町の場合、社会教育主事は5名いる。うち教育委員会には1名。事務局職員の中で1名来年度以降社会教育主事の資格を有する者がいる。役場内の人事異動について3年～4年。社会教育主事の資格を得たと同時に異動してしまうケースがある。社会教育を進めていく上で経験年数が重要になる。特に社会教育の人事について長い年数携われるように要求しなければならない。
委員	社会教育の充実をするためにも、各まち協にもう一人ずつ教育課の方で人的配置をするのも良い。
委員長	社会教育委員の実態について説明して欲しい。社会教育委員が動いていないことも、まち協の停滞につながっているのではないか。
事務局	社会教育委員について、役割の一つに町全体の社会教育について検討してもらおう。今までは、社会教育委員について各地域の実働部隊として4名配置となっていたが、社会教育委員の役割は町全体の方向性を決定すること。社会教育委員を減らしたことによって、地域の社会教育を推進できないという声もある。
委員長	社会教育委員がもう少し汗をかく方向に事務局として働きかけることが必要ではないか。
委員	社会教育委員を受けたことがあるが、動員要因であった。社会教育委員の必要性を感じなかった。機能もしていなかった。社会教育委員が動ける体制を作ることが必要である。文化面が非常に停滞している。文化面を強化してほしい。
教育長	委員長、委員の意見のとおりだと思う。日南町の根本的な部分に自尊感情・意欲が低いことがある。人生の中で成功経験が少ない。壁にぶつかった時に乗り越えることができない。人づくり、基盤づくりが非常に重要になってくる。個々で学習されている人はいる訳で、個々を結び付ける役割の強化が重要で

		ある。現在、結びつけることができていないことが本町の社会教育衰退につながっている。
委 員 員		社会教育の予算について、経常的な予算が多い。新しい取り組みに関する予算が無い。
委 員 長		文化面の予算も含めて、検討してもらいたい。
教 育 長		社会教育の充実に向け、政策・予算の充実を図っていきたい。
教 育 長		保育園の教育委員会所管について 現在までの状況説明
委 員 長		決議ということではなく、意見交換を行う。意見を求める。
委 員 員		保育園が所管となることでの小学校の負担が大きくなるのか。
教 育 長		これまで、小学校中学校では、各種研修を行い効果が表れてきた。保育園も回数は少ないが研修を行い成果は出てきたが、研修効果の差に開きがあるのが実態である。就学準備のために同レベルまで保育園の考え方について引き上げる必要があり、そのためには保育園小学校双方すり合わせが必要になってくる。もし、教育委員会に所管が変わった場合には、小学校から教諭を派遣する必要がある。保育園についても、地教委、小学校へ派遣し人的交流が必要になってくる。小学校の教諭も人的足りていないなかで、小学校の動きにブレーキがかかることが考えられる。
委 員 員		詳しい内情を理解しているわけではないが、現在独立して、保育園、小学校が運営できているので、所管が変わっても問題なく思う。
委 員 長		保育園と小学校の連携を強化していくことを考えると、小学校の先生を保育園へ派遣し、意識改革、地ならしすることは良いのではないかと。段階的に所管移行を考えていくことも良いのではないかと。
教 育 長		人的交流は試みようと思ったが、当局との折り合いがつかず断念した。ただ、今後において、所管を移行するのであれば、人事交流は必須になる。人事交流をし意識改革が重要になってくる。
委 員 員		保育園との連携は、大変重要なことだと思っている。今すぐ保育園に小学校のレベルまで求めることは難しい。段階的な計画をつくり進めていくことが重要ではないかと。
教 育 長		保育園と小学校を結ぶ接続カリキュラムについても、人事交流をし現場を把握していかないと作成をすることは難しいと思う。現場を把握したうえでカリキュラムを作成していかなければならない。接続カリキュラムがすべてではなく、色々な場面等の共有化を図っていく必要がある。

委員長	今後も意見交換をして、深めていきたいと思う。以上をもって第13回教育委員会を閉じる。
-----	--